

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」

質問項目の変更（案）

※平成24年調査の質問項目を見え消しにて作成。

※児童生徒の困難の状況のうち行動面に係る項目については変更しない。

※学習面の項目について、小学校への調査項目は変更しない。

問1 一般的な知的発達の遅れがないか

（0：ない、1：ある）

問2 国語、~~又は算数（数学）~~ 又は英語（中学生以上のみ） の中で基礎的能力に著しい遅れがあるか （著しいとは、小学3年生以下の場合、1学年以上。4年生以上の場合、2学年以上の遅れをいう）

~~——ただし、小学3年生以下の場合：国語又は算数で1学年以上の遅れがあるか~~

~~——小学4年生以上の場合：国語又は算数（数学）で2学年以上の遅れがあるか~~

（0：ない、1：国、2：算（数）、3：英、4：国算（数）、5：国英、6：算（数）英、7：国算（数）英）

I 児童生徒の困難の状況（中学生、高校生用）

＜学習面（「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」）＞

聞く

- ①聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き違える）
- ②聞きもらしがある
- ③個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい
- ④指示の理解が難しい
- ⑤話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）

話す

- ⑥適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）
- ⑦ことばにつまったりする
- ⑧単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする
- ⑨思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい
- ⑩内容をわかりやすく伝えることが難しい

読む

- ①①初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える
- ①②文章を理解するのに何度も読み返す文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする
- ①③音読が遅い
- ①④文章を読むことはできるが、内容が頭に入らない勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）
- ①⑤文章の要点を正しく読みとることが難しい

書く

- ②①⑥読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない）
- ②①⑦文章を書く際、漢字をあまり使わない独特の筆順で書く
- ②①⑧漢字の細かい部分を書き間違える
- ②①⑨文法的な誤りが目立つ（主語と述語が対応していない、順序がおかしいなど）句読点が抜けたり、正しく打つことができない
- ②①⑩限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない
- ②①⑪思いつくままに書き、筋道の通った文章を書くことができない

計算する

- ③②④数の表記が正確にできない学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい（三千四十七を300047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている）
- ③②③簡単な数（ $6+8=14$ 、 $15-7=8$ など、九九の範囲の計算）の暗算が素早くできない簡単な計算が暗算でできない
- ③④③四則演算（ $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div ）の計算の順番が正しくできない計算をするのにとっても時間がかかる
- ③⑤④計算に関わる記号（ $+$ 、 $-$ 、 \times 、 \div 、 $=$ 、 $()$ 、 π 、 $\sqrt{\quad}$ など）の意味が分からない答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい（四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算）
- ③⑥⑤簡単な文字式や一次方程式が解けない学年相応の文章題を解くのが難しい

~~②⑦~~数の量的な面が理解できない(数直線の見盛りが分からない、分数の大きさが分からないなど) 学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較。「1.5 cmは150 mm」ということ)

~~②⑧~~幾つかの事象から数学的な法則が見つけられない(数字の並び、表やグラフの変化から先を予測できないなど) 学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図)

~~②⑨~~文章題の解き方の方針(求め方)や立式が分からない事物の因果関係を理解することが難しい

~~③⑩~~基本的な公式や定理を示されても、それに当てはめて答えを求めていくことができない目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい

~~③⑪~~類似点・相違点を見つけれない(図形の性質や問題の解き方などの似ているところ、違うところが分からないなど) 早合点や、飛躍した考えをする

~~③⑫~~日常生活の体験にすぐわかない解答をしても分からない(日常でありえない答えでも変だと思わないなど)

(0:ない、1:まれにある、2:ときどきある、3:よくある、の4段階で回答)

II 児童生徒の受けている支援の状況

①当該児童(生徒)の在籍する学級の在籍者数は何人か

④②校内委員会において、現在、特別な教育的支援が必要と判断されているか

(0:必要と判断されている、-1:必要と判断されていない)

②③現在、通級による指導を受けているか

(0:受けていない、1:受けている自校通級、2:現在は受けていないが過去に受けていた他校通級)

~~③~~過去に通級による指導を受けていたことはあるか(上記②で「0」のみ回答)

~~(0:受けていない、1:自校通級、2:他校通級)~~

④過去に特別支援学級に在籍していたことがあるか

(0:在籍していたことがある、1:在籍していたことはない)

⑤「個別の教育支援計画」を作成しているか

(0:作成している、1:作成していない、2:現在は無いが過去に作成していた)

⑥「個別の指導計画」を作成しているか

(0:作成している、1:作成していない、2:現在は無いが過去に作成していた)

⑦特別支援教育支援員の支援の対象となっているか（支援員一人が複数の児童生徒を支援している場合も含む）

（0：なっている、1：なっていない、2：現在はなっていないが過去なっていた）

⑧授業時間以外の個別の配慮・支援を行っているか（補習授業の実施、宿題の工夫 等）

（0：行っている、1：行っていない、2：現在は行っていないが過去行っていた）

⑨授業時間内に教室以外の場で個別の配慮・支援を行っているか（通級による指導を除く）（個別指導 等）

（0：行っている、1：行っていない、2：現在は行っていないが過去行っていた）

⑩授業時間内に教室内で個別の配慮・支援を行っているか（特別支援教育支援員による支援を除く）（座席位置の配慮、コミュニケーション上の配慮、習熟度別学習における配慮、個別の課題の工夫 等）

（0：行っている、1：行っていない、2：現在は行っていないが過去行っていた）

⑪外部の専門家（特別支援学校、巡回相談員、福祉・保健等の関係機関、医師、スクールカウンセラー（SC）、作業療法士（OT）など）に学校として、専門的な意見を聞いているか

（0：定期的に聞いている、1：聞いている、2：過去に聞いたことがある）